

NST通信

◆委員会

1月26日(木) 16時00分～ 講義室

◇論文発表:HCU

◆研修会「NSTまめ知識講座」

1月26日(木) 17時40分～ 大会議室

「緩和ケアと栄養」

◇講師:がん看護専門看護師 渡辺看護師



NST通信では各部署のNST委員の方に記事担当をお願いしてトピックスなどを紹介しています。今月は**検査室**の担当です。

アルブミンと CONUT スコア

検査室ではNST介入患者さんの検査データを評価する際、アルブミンを栄養指標のひとつとして注目しています。今回はアルブミンとともにCONUTスコアについておさらいしていきましょう。

アルブミンとは

血漿中で最も含有量の多いタンパク質

【機能】

- ・ 膠質浸透圧（水分を引き込む力）の維持
- ・ 血中の様々な物質の運搬（薬剤、アミノ酸等）
- ・ アミノ酸の供給源

【基準値】 4.0～5.0g/dL

【アルブミンの一生】

- ① 食事中的タンパク質がアミノ酸として消化管から吸収される
 - ② 肝臓にてアミノ酸を原料にアルブミン合成
 - ③ 機能を果たした後、筋肉や皮膚で分解される
- ※いずれかに異常が起きた際、増減が起るため、他の検査項目とともに評価する！

CONUTスコアとは？

Controlling Nutrition Status の略

アルブミンに加え、総コレステロール、リンパ球数の数値をスコア化した栄養指標。

タンパク代謝、脂質代謝、免疫能を反映！

アルブミン (g/dL)	≥3.50	3.00-3.49	2.50-2.99	<2.50
スコア①	0	2	4	6
T-cho (mg/dL)	≥180	140-179	100-139	<100
スコア②	0	1	2	3
リンパ球数 (/μL)	≥1600	1200-1599	800-1199	<800
スコア③	0	1	2	3
CONUTスコア(①+②+③)	0-1	2-4	5-8	>8
栄養不良レベル	正常	軽度	中等度	高度

中等度～高度をNST介入基準としています。

JSPENからも**静脈経腸栄養ガイドライン**で強く推奨されています
「栄養療法施行中は、体重や血清アルブミン値などの栄養指標を用いた総合的な栄養アセスメントを週一回程度、定期的に行う⇒AⅢ」

NST介入評価にご使用下さい！



昨年度新たに**11名**の方が院内認定NST専門療法士を取得、**1名**の方が更新されました。

今月はOP室看護師2名の紹介です。

★認定取得にあたり意気込みをお願いします！
今まで患者さんの栄養状態にあまり関心がありませんでしたが、NSTの活動を通して患者さんの栄養状態が少し分かるようになり、術前の全身状態がより深く把握できるようになった気がします。今後もNSTで学んだ知識を活かして安全な手術看護につなげていきたいと考えています。



★認定取得にあたり意気込みをお願いします！
手術室では患者さんの栄養管理に直接関わる場面は少ないですが、**周術期を通して何か出来ることはないか**と感じていました。そこで一から栄養について学んでみようと思いNST認定を取得しました。まだまだ知識不足ですが、**他職種や病棟スタッフと連携して、患者さんの回復を支えていけたら**と思っています。

